

ことり新聞

看護部だより6月号

Jun
2022.6.10
Vol.110



北之園看護部長

6月6日(月)看護協会職能集会在開催されました。保健師・助産師・看護師1(病院)・看護師2(老健、訪看)と4職能が、職能上の問題を審議し、会長に助言することを役割に1年間の活動報告をします。結論として、急性期・慢性期を問わずに、困っていることはどこも同じでした。



その一つに、コロナ禍で実習経験を完全に果せないまま、卒業となり現場の一員となった方と指導する側、双方の苦勞はどこも同じと感じました。実習は、受け持ち患者の看護展開だけが目的ではなく、接遇や、様々な年代層との関係性の築き方など社会性を学ぶ場でもあります。私自身も実習環境の意味を再認識しました。他の病院の現状を知る事で、自身の職場環境で発見することもあります。



職能集会は、毎年開催されています。是非、来年は参加して実感していただきたいです。

6月研修

- 1・8日 HIV/AIDSの基礎知識
- 2日 新人看護師研修「輸液ポンプ」
- 8日 法人介護職「指導者育成」
- 9.18日法人卒後2年目セルフマネジメント
- 14日 オムツフィッター12期
- 21日 新人看護師 呼吸器フィジカルアセスメント
- 23日 臨地実習指導の実際
- 30日 在宅酸素



6月行事

- 5/30~17日大阪医療看護専門学校実習
- 1日 ビームゲンワクチン接種
- 2日 新人看護師ふれ愛TALK
- 13日 一般障害者病棟対面会再開
- 14~24日 春の職員健診
- 20~7/1日 青山大学実習
- 20~22日 大阪医療看護専門学校実習
- 21日 新人介護職員ふれ愛TIME

臨床倫理事例検討会

サブリーダー 西4階病棟 看護師長

皆さん、日々の業務おつかれ様です。

今年度の臨床倫理事例検討会の活動についてお伝えしたいと思います。



当院では、前任の吉田看護師長が長年にわたり担当してこられ「臨床倫理」がとても定着していると感じています。

今年度からは、西2階病棟の坂口主任が担当となり、検討会のメンバーが倫理的視点を持って自部署や自分自身の課題を明らかにすること、他職種理解・多様な価値観を踏まえた上で、自分自身の意見を言語化できることを目標に取り組んでいきます。

まずは、臨床倫理のキーとなる「患者さんにとっての最善とは何か」を思い描けるようACPの勉強会を行い、



知識を深めました。今後は、ファシリテーターの役割を福田看護師長、臨床倫理検討シートの活用方法を吉田看護師長に講義していただき、8月からの事例検討を実践していきます。検討会メンバーが現場で活かせるような検討会にしていきたいと意気込んでいますので、事例提供の担当になった際はご協力お願いします。



※事例検討会では多部署へもお声かけしますので、是非参加下さい！

5月31日(火)看護協会研修修了者による研修伝達講習会

昨年度看護協会での長期研修を修了された方が9名【○臨地実習指導者講習会：3名 ○認定看護師教育課程：2名 ○認定看護管理者教育課程：4名】による伝達講習会が行われました。

『参加者は、新たな知識を学び実践に役立てることができる・研修修了者は学びを実践と結びつけた報告を行い、研修成果を深めることができる』目的で行われた講習会へは各病棟の一般スタッフから主任、師長まで多くの参加がありました。



4月 新規褥瘡発生 8人

(5月褥瘡予防対策委員会より)

